



令和4年8月

## 「第三の居場所」

日本財団が取り組んでいる「子どもの第三の居場所」はご存じでしょうか？「日本財団子どもサポートプロジェクト」の1事業で子ども達の居場所作りの支援をしています。一時期は子ども食堂に注目が集まり、ニュースなどでも取り上げられていましたが、「子どもの第三の居場所」は、様々な形での居場所作りをサポートする取り組みになります。日本財団のホームページを見ていると「子ども支援」「障害児（者）支援」にとっても力を入れているのが分かります。この国の礎としての子どもの支援には共感出来る内容がたくさんあるので、時々ホームページを確認しながら見識を広げています。

日本財団子どもサポートプロジェクト

[https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child\\_support](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child_support)

「子どもの第三の居場所」は、貧困などの特別に支援が必要な子どもに向けた話ではなく、全ての子ども達に共通の事だと捉えています。私たちが運営をしている児童発達支援や放課後等デイサービスも実はその様な側面があります。

子ども達の生活の中では家庭や学校（保育園・幼稚園）が一日の中で8～9割を占めています。私たちの事業所に居る時間は残りの1～2割です。その中で、子ども達の発達支援をしているのですが、1割2割の活動時間の中で取り組む事が出来る範囲は限られています。

もちろん、事業所の活動の中で何か特別な力が付けば良いのですが、それと共に、

- 学校や家庭での取り組みに新しい視点でアプローチをする
- 何かに取り組む・挑戦をするきっかけになる
- 成功体験の中で自信になる
- 自分自身の事に気が付く（良い部分もそうでない部分も）
- 親でも先生でもない斜め上の関係性
- 自分の事を知ってくれている大人や仲間がいる

上記の様な体験や関係性作りが重要と考えています。

学校（保育園・幼稚園）でも家庭でもない、違った視点で子どもを観る事で、その子の新たな側面に気が付く事が出来て、それが子どもの自信に繋がっていく…

私たちの事業所もその様な「子どもの居場所」を目指しています。

児童通所課 嵯峨憲司





# 7月

# 活動報告



1 部



## 1学期 曜日別プログラム 製作品展示会



月曜：作業  
“手作りうちわ”

水曜：作業  
“ボタニカルキャンドル”



木曜：情報機器  
“オリジナル名刺”

水曜：作業  
“フラワーベース”

木曜：作業  
“ランプシェード”



2 部



## ぱれっと合同 夏祭り準備

## 作業風景写真

6月に引き続き準備を進めました  
皆、集中して  
取り組んでくれました！

